



兒童福祉情報

兒童課愈々發足

待望の道廳兒童課は愈々社會課より分離獨立七月三十一日發足した。年度初頭より難産を重ね全國の觀を承つて誕生した。其の間必然に兒童行政の運用に空白を生じたのを取返す爲、課長以下の人事決定と共に全課舉げて事務に精進を意氣込んでい。課長には衛生部公衆衛生課技師稲垣是成氏が就任した。

兒童課の所管事務

道廳では民生部に兒童課が新設されたに伴ひ、處務規程中改正を行つたが、其れに依る兒童課の主管事務在の如くである。

一、兒童福祉の綜合企畫に關する事項
二、兒童福祉法の施行に關する事項
三、兒童福祉思想の普及啓發に關する事項
四、兒童文化に關する事項
五、兒童の不良化防止に關する事項
六、兒童保護必要物資に關する事項

る事項

- 七、兒童の調査統計に關する事項
- 八、母子の保護に關する事項
- 九、他の主管に屬せざる兒童福祉に關する事項

兒童課の事務分掌

兒童課で八月一日兒童課事務處理規程を決定實施したが、務内を總務、母子衛生、指導の三係に分ち夫々主管事項の分掌を左の如く定めた。

△總務係(係長阿部主事、主任島岡主事)

(分掌事務)

- 1. 事務の統轄
- 2. 人事
- 3. 一般庶務
- 4. 福祉施設の設置

△母子衛生係(係長課長兼任、主任宇田川主事)

(分掌事務)

- 1. 乳幼児妊産婦の保健
- 2. 母子手帳交付
- 3. 母子衛生教育
- 4. 助産婦、保健婦關係事項

△指導係(係長中河原技師、主任川越主事)

(分掌事務)

兒童福祉思想普及及兒童相談所に關する事項

兒童福祉司發令

- 1. 兒童福祉思想普及及兒童相談所に關する事項
- 2. 兒童福祉司、兒童委員に關する事項
- 3. 保母、保育所に關する事項
- 4. 少年救護

兒童福祉法の施行に伴ひ本道に十七名の兒童福祉司が設置されるが、此の中左記八氏は既に發令となつた。

- 高橋永(上川) 稻童丸謙二(空知)
- 山本岩銀(後志) 常田榮吉(十勝)
- 佐藤貞三(石狩) 永井義男(渡島)
- 八木常雄(釧路) 釣谷忠(檜山)

兒童相談所設置

本道の兒童相談所は大體六ヶ所を設置する見込みであるが、此の中札幌、旭川、帯廣、釧路の四ヶ所は既に設置を見、此の中札幌は中央兒童相談所(位置札幌市南十四條西十六丁目報恩學園構内)となる筈であるが各相談所とも所長其他の人事も近く決定一齊に用所の筈。

會告

各市町村に御購讀を願つてい。本市の購讀料中、昭和二十二年分(創刊號の分)を未だ御拂込みならぬ向があり整理がつかず誠に困つて居ます。是等に對しては再御督促致したのであります。御承知の如く郵引上げの今日斯の種の照復に莫大な經費を要して居る現狀であります。事情御諒察上、未拂込の向は大至急右購讀料の御支拂を願ひします。

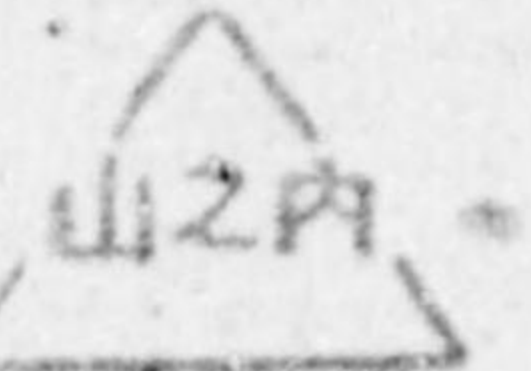
北海道兒童福祉

第三號(定價十圓)

昭和廿三年八月廿五日印刷
昭和二十三年九月一日發行
(隔月一回、奇數月一日發行)
編集兼發行人 中河原通之
札幌市北一條西十七丁目
印刷所 能味安太郎
札幌市南一條東五丁目
印刷所 有限會社 八社社
發行所 北海道兒童課内
北海道兒童福祉協會
電話(代)二、六三〇番

北海道兒童福祉第四號

(昭和二十三年九月一日發行)



活性化新化學療法劑

チフスゲリソン

皮下、筋肉注射液

サッカリンにズルチン中量を加へると甘味は飛躍的に増大する。サッカリン25g+ズルチン12g=甘味値53gといふ割合が出る。これを薬理學で相乗作用と言ふ本劑は生理本來の抗菌力を高める細菌溶解に、菌を死滅に導かしめる化學療法劑を創し、此の相乗作用が極めて旺盛なため驚異的治療率を挙げ時代を劃する新藥として注目されている。

(註 ズルチンの甘味はサッカリンの約半分)

注目される
三作用

賦活作用により特に感冒、關節炎等に
排泄作用により特に丹毒、面疔等に
乾燥作用により特に濕疹、水虫等に

扁桃腺炎・中耳炎・
癰疽・疔・齒齦炎
癩癧・疥癬・膿疱疹等
炭疽菌・化膿性疾患

カンボリジン

神経痛 肩こり

アークレミン

高血圧 偏頭痛

注射薬劑

山之内製藥株式会社札幌店

外
ハ
モ

厚生省飛兎第五〇号

昭和二十三年十月四日

厚生
次
官

各都道府県知事殿

File in Child Welfare
Miyama

里親等家庭養育の運営に關して

児童福祉法が施行せられて今日にいたつたのであるが、児童福祉法にいう里親については、その内容が必ずしも明確であつたとはいえない。しかかつて今回別紙「家庭養育運営要綱」のとおりの運営方針を決めたのでこの要綱に添綴して運営されたい。

左に運営上特に留意すべき諸点について記するから、里親等による児童の保護に遺憾のないようなお一層の努力をいたされたい。

記

第一 家庭養育運営要綱の取扱う範圍

児童は両親のもとで保護されるのが最もよいと思われる。事情によつて児童をその家庭とは異なるところで保護しなければならぬ場合、児童を預つて保護するものとして各種の児童福祉施設と個人家庭がある。児童によつては、預る個人家庭が適当なものであれば施設による集団保護よりも個人家庭による養育によつてより良く保護される場合が数多くあると

なお遵守すべき条件を決定するときは必要に慮じ労働基準監督署の意見をきく等労働基準法の趣旨を遵守することともに、児童の年令、健康状態等を考へ児童の養育に支障を来さないよう努めること。

九里親に対する指導は、里親の居住地を担当する児童福祉司、指導員児童委員等が中心に児童相談所長が依頼した一人が専らこれにあたるのである。これらの指導員は児童の保護に關し専門的技術と経験に乏しい里親を指導して児童の保護が適切になされるよう努めるのであるから、彼等がケースワークとしてこの自覚と責任を以て十全な活動をするよう指導員と里親に對する指導は主として本要綱の里親家庭の保護に關する規定を中心として行うこと。

十費用については別途通達する予定であるが、これまでは昭和二十三年五月二十九日附児童第二五七号「児童福祉法による措置等のため支出する費用の程度に關する件」によつて取扱われたい。

第三養子縁組

一養子縁組については民法がこれを規定している。「家庭養育運営要綱」はこれを否定するものでなく、それが適正用済に行われることを企図するものであつて、むしろその補完作用をなすものであるといえよう。いままで自己の子供を養子に出さうと思つてゐる者が児童を養子にしようと思つてゐる者の多くが適当な保護がなされたの相違を認出すこと、幾多の困難、不慮と危険を経験してきた実情に鑑み、本要綱はこれらの人々のために児童相談所が中に立つて適当な斡旋をすることにした。したがつてこれらの人々が児童相談所に相談にくるよう一般の啓発につと

第四 家庭養育制度の普及

めること。

一 家庭養育制度の普及についてはおおむね左の方法によつてなされたいこと。

(1) 新聞、ラジオ、婦人雑誌等の報道機関の協力を得るとか又はパンフレット、リーフレット、ポスター等を作成して家庭養育制度に対する一般の理解を高めること。

(2) 児童相談所、児童福祉司、保母員及び児童委員等に対し家庭養育制度を理解徹底させ管轄区域において家庭養育の普及のため最善の努力を盡させること。

特に各児童委員に対し管轄区域から適当と思われる里親を一人以上を目標として推薦するよう努力させ、これに児童を委託してよい里親をまずつくり、これを基にして里親の普及を図ること。

(3) 模範的な里子村をつくりとか、今迄あつた里子村又は里親のうち良いものを紹介して一般の関心を高めること。

(4) 婦人団体、青年団体、女子学校同窓会、医師会、助産婦部会等の協力を得て里親の発見普及に努めること。

(5) 児童委員に対し、管轄区域内の児童にして里親の保護を適当とする者を発見したときは児童相談所にその旨を連絡するよう指導すること。

(6) 児童相談所、児童委員に対しては他人の保護を必要とする児童を発見したときは児童相談所に連絡するよう努力を促すこと。

家庭養育運営要綱

児童の保護は、その肉親によりその家庭においてなされるのが最良の途である。ところが、世の中には不幸にして保護者のない児童又は保護者が監護することが不適当な児童が数多く存するものである。これらのうち、保護者のある児童については、國は、まづその保護者に対して児童の保護が適当になされるよう指導、援助を與へるのであるが、これらによつて児童の保護が完うされぬときは、児童を保護者のもとから引離して、適当なところへ預けて保護しなければならぬ。保護者のない児童については、直に右の措置を講ずる必要はない。この様な児童を預け保護するものは、養育施設であるが、そのほかに児童の養育を希望する者の家庭がある。このような家庭として児童福祉法にいう里親家庭と民法にいう養子縁組による養親の家庭が考えられるであらう。本要綱は、この二つの家庭による保護を家庭養育としてその運営方針を規定したものである。家庭養育については、児童相談所がその中心的な機関となり、諸種の調査、指導、幹施等をして、家庭養育が円滑に実施され、それによつて児童の保護が完うされるよう努力するものである。家庭養育が思の普及を図り一般の理解と協力を高めるとともに、児童相談所が活用されるようすべての努力を盡さなければならぬ。

第一章 児童福祉法にいう里親
第一節 里親の定義

(一)

里親とは、児童を一時的又は継続的に自己の家庭内に預り養育することを希望する者であつて、里親登録簿に登録されている者という。前項にいう児童とは、保護者のない者又は保護者不詳とあることが不適当と認められて都道府県庁が里親に委託する児童であつて、保護者未詳の者という。

第二

里親制度の運営機関

里親制度については、都道府県知事、児童相談所長、児童福祉司、保導員、児童委員及び児童福祉施設の長等が児童福祉法（以下法という）の規定により、それぞれ運営し関與するものであるが、特に児童相談所長は、その中心となり、他の諸機関と緊密な連絡を保持し、本制度が円滑に実施されるよう努めるものとする。

第三

(一)

里親思想の普及、調査、認定

都道府県知事は、自ら又は児童相談所長、児童福祉司及び児童委員等をして、里親思想の普及を図り、それに対する一般の理解と協力を高めるとともに、自己の子女を他人に養育してもらおうと思ふ者又は児童を養育しようと思ふ者が、児童相談所に相談に来るよう、啓発に努めなければならない。

(二)

里親になることを希望する者（以下里親申込者という）は居住地を管轄する児童相談所を通じて、都道府県知事に別紙第二号様式により里親申込書を提出しなければならない。

(三)

里親の申込を受けた児童相談所長は、直ちに所員又は児童福祉司、保導員、児童委員をその家庭に派遣する等の措置をとり必要な調査をなした上、別紙第二号様式によりその適否を明らかにする書類を里親申込書に添附して、都道府県知事に送付しなければならない。

原
由。

(四) 三の家庭調査は、左の事項につきこれを行うものとする。

1. 里親申込者(児童の養育を主として担当する女子(以下里母という)を含む)について

(イ) 住所、氏名、年令、性別、性格、履歴、職業、宗教、

(ロ) 児童受託に到つた動機、児童の養育に対する理解程度、熱意及び児童養育の方針

里親申込者が、児童を養育しながらそのもとで働かせることを希望する者であること

又は、児童を働かせる仕事、場所、存らびに働かせる条件等

(ハ) 健康状態。健康診断を必要とすると思われるときは、保健所又は国立病院の健康診

断書を提出させること。

2. 里親申込者と起居をともにする者について

(イ) 氏名、年令、性別、里親申込者との間柄、性格、履歴、職業、

(ロ) 児童の養育に対する理解程度

(ハ) 健康状態。健康診断を必要とすると思はれるときは、保健所又は国立病院の健康診

断書を提出させること。

3. 里親申込者の家庭について

(イ) 社会的信用、家庭内のふん囲氣

(ロ) 経済状態

(ハ) 住居

(二) 衛生的環境

(ホ) 家庭に対する近隣の評判

4. 学校の状況及び距離

5. 近隣の地域的、社会的状況

6. その他必要と思われる事項

(五) 里親の認定は、左の基準によつてこれを決定しなければならぬ。

1. 里親申込者及びこれと起居をともにする者が、児童の養育について理解を持ち、しかも熱意と豊かな愛情を有する者であること。

前項の基準は、里母に對して、特に必要とされる。

2. 家庭生活が、精神的にも物質的にも健全に営まされており且つ明るいこと。

資産の有無は必ずしも必要條件ではないが、できるかぎり生活に余裕のあるものであることが望ましい。

3. 児童受託の動機が、児童の労働力搾取を目的とし、又委託費採取を目的とするものではないこと。

4. 里親申込者及びこれと起居をともにする者のうちに、児童の心身に害を及ぼすような健康と居住を持った者がいないこと。

5. 里親申込者の家庭、家屋及び居住地の環境が、児童の保健、教育その他児童の福祉上適當なものであること。

6. 乳児の養育を希望する者にあつては、適当な母乳が豊富にあることが望ましい。
7. 里親申込者の家庭に、委託される児童と同年齢の子女がいなことが望ましい。
8. 里親申込者の家庭において養育される児童の総数は、現に里親申込者と同居をともにする児童を含めて六人以下であることが望ましい。

9. 里親申込者（里母を含む）の年齢が、養育しようとする児童の両親の年齢に近いものであることが望ましい。

(六) 都道府県知事が、(五)の基準により、里親申込者に対して里親としての認定を行おうとするときは、地方児童福祉委員会の意見をきかなければならない。

前項により里親としての認定が決定すれば、必要な事項を里親登録簿に登録しなければならぬ。

(七) 里親が、児童を受託する以前に病気その他を理由によつて児童を引受け難くなつたときは、遅滞なく理由を附してその旨を児童相談所に経て、都道府県知事に届出なければならぬ。

前項の場合、都道府県知事は、児童相談所長の意見をきき、里親登録簿から当該里親に関する票又は事項を削除又は抹消しなければならぬ。

里親申込者が里親として不適当と認定されるときは、都道府県知事は、本人にその旨を通知しなければならぬ。

第四 委 託

(一) 都道府県知事は、法第二十七條第一項第三号の措置又は措置の変更をしようとするときは、

は、できるかぎり里親の活用を図るよう努めなければならない。但し、虚弱な児童身体の振奮の不自由な児童、精神薄弱な児童、不良行為をなす児童にして程度の高い者を里親に委託しようとするときは、里親がこれに対して深い理解と熱意を有するときにかゝり委託すること。

(二)

里親に児童を委託する場合、都道府県知事は、その児童にもつとも適合する里親を選ぶように努めなければならない。

(三)

児童相談所長は、法の規定により報告された児童又は相談のあつた児童につき、医学的診査、心理学的検査及び環境調査をなした結果その児童を里親に委託することが適当であるを判定した場合、別紙第三号様式によりこれを都道府県知事に報告しなければならない。

(四)

児童相談所長は、たえず管轄区域内の児童福祉施設と密接な連絡をとり、その実情と精進するとともに、当該施設において収容保護をうけている児童にして里親委託を適当とする者の申出があつたときは、必要な手続をとなければならない。

前項の場合、児童相談所長は、該児童につき、その健康状態、知能程度、性格、生活歴等必要な調査をして、別紙第三号様式によりこれを都道府県知事に報告しなければならない。

(五)

都道府県知事は法第二十七條第一項第三号の措置又は措置の変更によつて児童を里親

に委託しようとするときは、必要に及ばずとも児童相談所長、児童福祉施設長（一）
該児童福祉施設に入所している児童を里親に委託する場合（一）及び児童又はその保護者の
意見を十分きかなければならない。

前項の場合、都道府県知事は、児童を委託する里親及び委託に要する費用に關する事
項について、児童又はその保護者に告知しなければならない。

(六) 都道府県知事は、児童を里親に委託する場合、里親に、児童の改名、性別、年齢、健康
状態、知能程度、性格、生活歴その他児童の養育に關し必要な注意事項を記載した書類
（別紙第四号様式による。）を、児童相談所を通じて交付することとし、里親登録簿に必
要な事項を登録しなければならない。

前項の場合、児童相談所長は、里親の居住地を担当する児童福祉司、保身員、児童委
員等の中の一に前項の書類の字を送付して、当該里親の指導をせむるとともに、その
旨を里親に通知しなければならない。

(七) 里親に乳児又は幼児を委託する場合、児童相談所長は、母子手帳を本人につけてやるよ
う指導しなければならぬ。

児童又は児童の保護者が母子手帳の交付をうけていないときは、里親が自己の居住地
の市区町村長に届け出て、手続をとり、母子手帳の交付をうけるよう指導しなければな
らない。

(八) 都道府県知事は、三親等内の児童を現に養育し又は養育しようとする者に対しては、そ

の児童につき法の規定による里親委託の措置をとつてはならない。

但し、児童の伯父、伯母（叔父、叔母を含む）がその児童を養育する資力に乏しい場合は、このかぎりでない。

都道府県知事は、専ら児童を働かせようとする目的をもつて、児童の養育を希望する者又は初めから児童を他人のもとに通わせて働かせることを希望する者に対して、里親として児童を委託してはならない。

都道府県知事が、児童を養育しながら、そのもとで働かせることを希望する里親に児童を委託しようとする場合、里親が遵守すべき条件を次の第一項の書類（第四号様式）に記入し、児童相談所を経てこれを里親に交付しなければならぬ。但し満十二才未満の児童はこれに委託してはならない。

前項の条件を決定する場合には左の各号の事項を遵守することはもちろん、さらに児童の養育に支障を来さないよう、慎重な考慮を拂わなければならない。

(1) 学校教育法の規定による義務教育を修了した児童については、これを一日七時間以上、一週四十二時間以上、就学中の児童については修学時間を含めて一日六時間以上、一週三十六時間以上働かせないこと。

(2) 児童を危険有害の仕事、重量物を取扱う仕事につかせないこと。就学中の児童については、極めて軽易な仕事以外の仕事につかせないこと。

(3) その他、児童に肉体的精神的に苦痛を與える仕事につかせないこと。

(4) 児童は午後八時から午前五時までの間に働かせないこと。
(5) 都道府県知事は、一の里親家庭に対して、児童が兄弟である等特別の場合を除いて、同
時の措置によつて二人以上の児童を委託してはならない。

現に児童を養育している里親がさらに他の児童の養育を希望する場合、都道府県知事は、児童相談所長及び次の第二項により当該里親の指導にあたつている児童福祉司、保
護員又は児童委員の意見をきいて、児童を委託しなければならぬ。

第五 児童相談所長に対する権限の委任

(一) 法三十二條の規定により、都道府県知事が児童相談所長に対して児童を里親に委託する
権限をできるだけ多く委任することが望ましい。

都道府県知事が児童相談所長に対して前項の権限を委任すれば、第一章の規定は委任
の限度に応じてこれと変更されるものとする。この場合、児童相談所長は、必要と思
われる事項につき都道府県知事に報告しなければならぬ。

第六 里親家庭における保護

(一) 里親は、児童を家庭の一員としてこれに家庭的ふん囲気と共に、児童に対する深い理解
と愛情を以て、児童が健全な身体及び豊かな情操と良識をもつた人間になるよう、これ
を誠実に養育しなければならぬ。

家庭は常に和合を保ち、児童の心身を害するような言動を避けなければならぬ。
児童の自治的精神は、できるかぎり尊重しなければならぬ。

(二) 食餌は、なるべく変化に富み且つ児童の健全な発育に必要な熱量ならびにたん白質を含有していなければならぬ。

食事は、差別待遇をすることなく、同じ食卓で団欒のうちになさなければならぬ。母乳を必要とする児童を養育する里親において母乳が少ないか又はないときは、最寄の保健所、医師へなるべく小児科専門の医師が望ましい。又は保健婦の指導を受け、児童に適する牛乳、山羊乳その他人工栄養品等を適切に且つ規則正しく與えなければならぬ。

(三) 学令期にある児童は、学校教育法の規定に基き通学させ、学習に必要な物品を支給するとともに、学習の援助を與えなければならぬ。

(四) 児童の遊び、遊び場所、遊び道具、読物、映画等に対し、適当な考慮を拂うとともに児童の交友関係ならびに児童の言動、持物等にたえず注意を拂つて、児童が不良化けることを防止せよ、さらに遊んでこれを指導するように努めなければならぬ。

(五) 児童に適當な衣服を與えるとともに、たえずこれの清潔にし、且つ補修することに努めなければならぬ。

(六) 児童を養育する里親においては、乳児のおむつをしばしばとりかえるとともに、これを洗濯して常に清潔にしておかなければならぬ。

(七) 乳児は、すくなくとも週三回入浴させなければならぬ。
(八) 里親家庭には、児童のために必要な家庭医薬品を備えておかなければならぬ。

(九)

里親は、深養養育等、児童の健康に十分注意し、異常があるときは、直ちに最寄の保健所
医師、又は保健婦に相談する等適当な措置をとらなければならぬ。

児童が重い病気になる、あるいは児童の家庭その他重大な事項が発生したときは、必
要な措置をとるとともに第四のイ、ロ、ニ項により当該里親の指導にあたる児童を
社司、保導員又は児童委員に連絡し且つ児童相談所を経て都道府県知事に報告しなけれ
ばならぬ。

(十)

児童の養育に關し困難な問題が生じ又は生ずるおそれがあるときは、第四のイ、ロ、ニ項
により当該里親の指導にあつた児童福祉司、保導員又は児童委員の援助を求めな
ければならぬ。

(十一)

児童を酷使し又は児童の健康、教育その他児童の福祉上好ましくない用務に就つてはな
らぬ。

(十二)

里親は、児童に対して自己の子女に比し差別的な取扱をしてはならぬ。

(十三)

里親は、現に養育している児童を他の家庭の養育にゆだねてはならぬ。但し、里親が
旅行その他特別の事情のため一時不在になるときは、第四のイ、ロ、ニ項により当該里親
の指導にあつて児童福祉司、保導員又は児童委員の承認をえて、児童を一時他の

家庭の養育にゆだねることが出来る。

(十四)

里親は、満十二才未満の児童を働かせてはならぬ。(一) 産婦除、炊事の手傳等軽度の家
事の手傳をする場合を除く。(二)

(五)

里親は、満十五才未満の児童を他人のものと通わせて働かせるはならない。

左の各号の事項に該当する場合、里親は児童相談所を経て、都道府県知事に承認の申請をしなければならぬ。(一)庭掃除、炊事の手伝等軽度の家事の手伝をする場合を除く。

(1) 里親のもとを新たに児童が仕事につこうとするとき。

(2) 児童が里親家庭において成長して満十五才以上になり他人の家に通つて仕事につこうとするとき。

(3) 児童が働いている仕事又は場所を変更しようとするとき。

前項の場合において児童が他人のもとに通つて仕事につくときは、その事業場において労働基準法の適用を受ける。

第一項の申請をうけた都道府県知事は、児童の働く仕事、場所ならびに労働条件等を調査し、且つ児童相談所長、第四の(イ)の(イ)二項により里親の指導にあつてゐる児童福祉司、保母員又は児童委員及び児童の意見をきき、それらが児童の養育に支障を與えないときにかぎり承認することができる。

児童が里親のもとで働く場合には、里親が遵守すべき条件を記入した書類を里親に交付しなければならぬ。その条件の決定にあつては第四の(イ)の(イ)二項を準用する。

(七) 里親に、死亡、住所移転、その他重要な変更を生じたときは、遅滞なく、児童相談所を経て、都道府県知事に報告しなければならぬ。児童が満十八才を超えに至つたときも同様である。

第七 指導

(一) 児童相談所長は、里親に対する指導の適正確実を期するため、児童毎に、里親登録簿の字及び児童委託通知書等の字を整備するとともに、児童委託後に生じた重要な事項をこれに追加記入して、これによつて委託児童の状況を一目して明らかなるよう努めなければならぬ。

児童相談所長は、必要に応じ第四の(六)の(二)項により里親の指導にあつてゐる児童福祉司、保導員又は児童委員に里親指導に關して助言を與ふるものとする。

(二) 児童相談所長は、児童を委託してゐる間は、第四の(六)の(二)項により里親の指導にあつてゐる児童福祉司、保導員又は児童委員をして定期的に里親家庭を訪問し、児童の養育に關し必要な指導をさせなければならぬ。

前項の訪問は、児童が委託された直後の二ヶ月間は二週に一度、その後の二ヶ月間は一月に一度なされなければならぬ。

(三) 第四の(六)の第二項により里親の指導にあつてゐる児童福祉司、保導員又は児童委員は、(一)の定期的な訪問のほか、里親から援助を求められたときその他必要と思われるときには、しばしば里親家庭を訪問しなければならぬ。

(四) 第四の(六)の第二項により里親の指導にあつてゐる児童福祉司、保導員又は児童委員は里親を指導するにあつて、諸般の事情をよく調査して適正な判断を下し、懇切丁寧を旨として相手に理解納得させなければならぬ。

(五)

第四の(六)の予二項により里親の指導にあつてゐる児童福祉司、保導員又は児童委員はその担当する各里親につき指導記録簿(別紙第六号様式による)を設け、里親家庭を訪問して指導をした度毎に、必要な事項を記入するとともに、これを児童相談所長に報告しなけれはならない。

前項の報告をうけた児童相談所長は、必要に依り、これを都道府県知事に報告しなけれはならない。

(六)

児童の養育に關し適当でないことを発見し必要な助言を與へたに拘らず、なお里親がこれを遵守しないとき、第四の(六)の予二項により里親の指導にあつてゐる児童福祉司、保導員又は児童委員は、意見を具して児童相談所長にその旨を報告しなけれはならない。

(七)

里親方又は児童に、病氣その他已むを得ない事由があつて、児童の養育を継続し難いとき、里親は遅滞なく理由を附してその旨を、児童相談所を経て、都道府県知事に届出なければならぬ。

(八)

(六)又は(七)その他正当な理由がある場合に、都道府県知事は、児童相談所長及び第四の(六)の予二項により里親の指導にあつてゐる児童福祉司、保導員又は児童委員の意見をきいて法第二十七條第一項予二号の措置の解除又は措置の変更をすることが出来る。

前項の場合、都道府県知事は、里親登録簿から当該里親に關する票又は抹消しなければならぬ。

第九 都道府県間の連絡

(一)

都道府縣知事は、他の都道府縣に居住する里親に児童を委託しようとするときは、当該都道府縣知事に、児童に関する必要な書類を送付してその児童に適合する里親の斡旋を依頼しなければならない。

前項の依頼を受けた都道府縣知事は、適当な里親を選定し、その里親に対する必要な書類を依頼した都道府縣知事に送付し、里親にその旨を通知するとともに、里親登録法にその旨を記入しなければならない。

前項の書類の送付を受けた都道府縣知事は、その書類に基づいて、適当と思われるときは、当該里親に児童を委託するものとする。

(二)

都道府縣知事は、自己の管轄区域内に居住する里親に委託する適当な児童がないときは、里親に関する必要な書類を送付して、これを他の都道府縣知事に通報するとともに、里親にその旨を通知しなければならない。

都道府縣知事が前項の通報を受けたその里親に対して児童を委託しようとする場合は送付を受けた書類に基づいてこれをなすものとする。

(三)

都道府縣知事は、児童を委託した里親が当該都道府縣に居住していない者であるとき又は他の都道府縣に住所の移転を行ったときには、関係書類を送付して、里親の居住地を管轄する都道府縣知事に、当該里親の指導監督を依頼するとともに、里親にその旨を告げなければならない。

(四)

居住地を管轄していない都道府縣知事から児童の委託を受けた里親も、居住地を管轄す

(一) 都道府県知事の指導監督に服し、第六の(九)、(十)、(十一)、第七の(七)の場合には、指導監督をなす都道府県知事に報告、届出又は承認の申請をしなければならない。

(二) 前項により法第二十七條の措置に影響を及ぼす事由があるときは、当該都道府県知事は、児童を委託した都道府県知事にその旨通報しなければならない。

(三) 里親に申し渡した又は通報し、及び依頼をうけ又は通報をうけた都道府県知事は、相互に緊密な連絡をとり必要な協力をなさなければならない。

第十 費用

(一) 法第二十七條第一項第三号の規定により児童を里親に委託した場合、その措置に要する費用（以下委託に要する費用という。）とは、児童の養育に要する費用、児童の医療費及び移送に要する費用のうち、児童の養育に要する費用を毎月はじめに、児童の医療費を毎月末に支拂わなければならない。

(二) 都道府県知事は、他の都道府県に居住する里親に児童を委託した場合にも、その児童の委託に要する費用を当該里親に直接支拂わなければならない。

(三) 里親が委託に要する費用の支拂を請求したときは、都道府県知事は委託に要する費用を支拂わなくてはならない。

第二章 養子縁組

第一 児童相談所の活用

(一) 児童相談所長は、自己の子女を養子に出そうと思つてゐる者又は児童を養子にしようと思つてゐる者でその適当な相手を見出しえない者が、児童相談所に、養子縁組に関し相談に来るよう一般の啓発に努めなければならない。

第二 調査、認定

(一) 児童相談所に対し、自己の養子とする児童の斡施を願う者へ以下養子縁組希望者といふことがあるときは、児童相談所長は、その家庭調査をなして、その者が養親として適当であるかどうかを認定しなければならない。

(二) 自己の子女を養子に出す相談に来た者があるときは、児童相談所長は、その児童につき調査をしなければならない。

第三 養子縁組に関する手続

(一) 前二項の調査、認定に関しては、それと裡親の規定を準用する。

(二) 児童相談所長は、第二の調査、認定をした後、養子縁組希望者及び児童へ法の規定によつて通告された児童を合むにつき養子縁組希望者として適当な者があるときは、左の各号の一の手続により進めるものとする。

但し、その場合、養子縁組希望者に特別の事情がないかぎり、児童を少くとも六ヶ月以上親として養育することを奨めることが適当である。

人 児童の籍が判明するとき

児童が満十五才以上であつて養子縁組を希望しているか、又は児童が満十五才未満であつてその法定代理人（児童福祉施設の長を含む）が児童の養子縁組を希望している場合には、養子縁組の幹施をすること。但し、この場合でも、養子縁組に対する家事審判所の許可が必要である。

四 児童が満十五才未満であつてしかもその法定代理人がないときは、民法第八四一條の規定により児童の居住地の家事審判所に対し後見人選任の手続をとること。

児童相談所長が前項により児童の後見人として選任されたときは、児童の養子縁組の申し承諾を與えて養子縁組の手続をとること。

2. 児童の籍がないか又は判明しないとき

児童が棄兒であるときは、直ちにその旨を市町村長に申し出て籍を定めもらうこと。もに後見人選任の手続をとること。

四 前項に該当しないで籍の判明しない児童については、戸籍法第百十二條の規定により児童の就籍の手續の幹施をして、それ以外の（一）又は（四）の才二項に準じた手續をとること。

第四 離 縁

児童が満十五才未満であつて、養子縁組の結果が児童のため適当でないことを発見し養親が協議上の離縁をしないときは、その縁組につき承諾権を有する児童相談所長は、離縁の許可提議することができらる。

第一号様式

里親申込書

健康状態		交通手段	住所	本籍	里母氏名	里父氏名	希望児童			その他希望事項
母里	父里						性別	月	日	
		西証番号			当 年 月 日 大 生	当 年 月 日 大 生				
の 母 有 無	養 育 期 間	里 母 履 歴		里 父 履 歴		児童受託の動機			交付 年月日	※ 昭 和 年 月 日
	有るとすればその程度								寄附 番号	※

<p>養育の方針</p> <p>委託費 に對する 希望</p>	里親と起居を とるすに				
	氏名	年令	性別	間柄	健康 状態
<p>昭和 年 月 日</p> <p>都道府県知事 殿</p> <p>①</p>	居住及環境				
	敷地 坪	建物 坪	自家 借屋	一戸建 長屋	二階建 平屋
					地帯
<p>児童の世帯に在る児童の状況</p> <p>児童の世帯に在る児童の状況</p>					

(第一号様式)

「記載上の注意」

- 一、この票は里親申込者が記入すること。
- 二、※印は児童相談所が記入する。
- 三、その他希望事項欄には、希望する条件をできるだけ具体的に記入すること。
- 四、児童受託の動機欄にはたとえは(1)不遇な児童に対する同情から(2)自分の子供が成長して家庭内に余力があるから、(3)自分に子供がないから、(4)母乳が豊富にあるから等のように記入するだけありのまゝに記入すること。
- 五、「里親」とは自分の里親申込者、「里母」とは児童の養育を主として担当する女子のことである。
- 六、「職業」欄には職業名を記入すること。
- 七、「履歴」欄には、最終学校名へ卒業、修業の別をはっきりさせること。(及びその後の主な職歴を記入すること。)
- 八、「交通目録」欄には、鉄道下車駅、電車停留所等及びそれから家迄の距離を記入すること。
- 九、「健康状態」欄には、現在の健康状態、たとえば(1)極めてよい、(2)普通、(3)稍よい等を記入すること。若し以前に重い病気をしたことかあればその病名を書き添えること。
- 十、「養育期間」欄には児童を預ろうと思ふ期間をおおよそ何年ぐらいと記入すること。
- 十一、「委託費に対する希望」欄には、たとえ(1)全額希望、(2)一部希望、(3)全く不要等をはっきり記入すること。

十二、養育の方針に關しには、たとへば(1)學校教育ほどの程度進ませたい(2)養育した上で養子にし
たい、(3)將來家業の手伝をさせたい、(4)將來児童の職業をどうするつもり、(5)その他等につ
いて適當なことを具体的に記入すること。

十三、児童を働かせようと思ふ場合に關しには、児童を養育しながらそのもとで働かせようと思ふ者
にかぎるものであつて、その仕事の内容、場所、労働条件等について詳細に記入すること。
その他の者はこの欄に記入しなくてもよい。

(第二号様式)

里親登録簿

(其の二)

里親に つ い て					家庭調査票		住所	
健康状態	履 行	取 扱	生 年 月 日	氏 名	里 親 について の 事 項	交 通 目 録	本 籍	重 覧 由 至 交 所 認 相
			年 月 日	当 夫	里 親 について の 事 項			
			年 月 日	当 夫	里 親 について の 事 項	備 考 号		植 訓 既 取 付 日 記 簿
母 乳 の 有 無 及 び 程 度								

外へ

登録番号	登録日時
	年 月 日

登録番号							登録日時				氏名				年齢		性別	間柄	健康状態	性格	職業	履	丁	養育に対する程度		事項の																																				

養育に対する程度

養育の針方

外ノ八

見意の長所談相量 ^見	費託委	況状の庭家						
		産資	収計	家	的 ^地 生 ^備 の ^境 境	居住		
年 月 日		円	収 入	昨 一 年 間 の 収 入	上 通 木	空 白 敷 数	建 物 数	長 屋 数
		円	支 出	の 支 出	下 水		湖 沼 数	
年 月 日	定認の節知 ^見	時 隔	坪 数	資 産				
		円	坪	田 畑	出 入 の 人	近 所 等	前 年 比	
年 月 日	養育期 ^見	円	坪	山 林				
		円	坪	宅 地				
年 月 日		円	坪	泉 屋		物 取 等 の 数	内 庭 数	庭 床 数
		円	坪	其 の 他 動 産				

内
ノ
ハ

当

ケ月

性

別

当

ケ月

性

別

項 事 定 未

※

氏名
性別
年齢
委託
費用
期間

本
取
扱
者

年
月
日

※
記
入
要
領
要

備考
1. ※印欄は児童保護所長が記入すること。
2. ※印欄は児童保護所長が記入すること。

(第一号様式)

「記載上の注意」

一「家庭調査票」と「委託児童調査票」とを合わせて綴り、里親登録法として、都道府縣に

おいて保管する。

二里親登録番号は、一里親に対して一番号とし、登録法に登録される順に違ふこと但し飲番となつたときはそのまゝおくものとする。

三本票は、児童相談所から送達された児童福祉司、指導員又は児童委員が必要な調査をして記入すること。

調査に当たっては、特に細心に注意して客観的に判断し、各事項について正しく調査すること。

四「職業」欄には、自営、勤務、自由業、無職等の別を明らかにし、自営のときは、農、水産林業、工、織、商、土建、運輸業その他のうちどのに属するかを、勤務のときは事業所名、事業種別、仕事の内容、地位等について、自由業のときはその取組を記入すること。

五「履歴」欄には、最終學級名(卒業、修業等の別)を明らかにし、及び主たる取組を記入すること。

六「健康状態」欄には、現在の状態についてできるだけ詳細に記入し、既往病歴を有するものについてはそのうち結核性疾患、癩病、慢性疾患及び重病中長期入院(但し外科的疾患を除く)について特に必要と思ふ場合は、健康診断書を提出させ添付すること。

七、「宗教」欄には、どういふ宗教を信仰しているか及びできれば信仰している程度についても記入すること。

八、「児童受託の動機」欄には、できるだけ具体的に記入すること。

九、「養育に対する理解程度、熱意等」欄には、できるだけ具体的に具つ詳細に記入し、これによつて児童の労働力採取、委託費採取を目的とするものでないことかわかるようにすること。

十、「養育の方針」欄にはたとえは、(一)学校教育はどの程度進ませたい。(二)養育した上で養子にしたい。(三)将来家業の手伝いさせたい。(四)将来児童の取業をどうするつもり。(五)その他等について適切な事項を具体的に記入すること。

十一、「児童を付かせるとすればその仕事内容、場所、労働条件等」欄には、里親申込者が児童を養育しなからそのもとで児童を付かせようと思ふものであるときにかぎりこれを記入すること。里親申込者が児童にさせよう并希望している仕事の内容、場所、労働条件等及び調査に派遣された者が適当かと思ふ程度(朱書)を記入すること。

十二、「社会的信用」欄「家庭内のふん囲気」欄「出入する人の傾向」欄「近隣の評判」等については、近隣の噂など参考として記入すること。

十三、「住居」とは家の構造及び室数を、「地域的、社会的状況」とはたとえば農業地、商業地、工業地、住宅地、スラム街、歓楽地、その他等のいずれに属するかを、衛生的状況とは、ここへは清潔であるとか、下水の排水状況が悪いとか悪い、学校の状況とは、環境、特色等できるといふだけ要点を短く記入すること。

三「委託費」欄には、里親申込者が希望する具体的金額及び委託費として支給するに相当と思われる程度を朱書すること。

四「養育期間」欄には、里親の希望を考慮し、調査に派遣された者が適当と思う期間を記入すること。

五「児童相談所長の意見」欄には、できるだけ具体的な理由を付してその適否を明かにし、ほ委託費等に対する意見を記入すること。

六「知事認定」欄には、地方児童福祉委員会の意見をきいて、里親として適当な場合はその年月日を記入して「認定」と朱書する。否「認定」の場合は理由を付して朱書する。

七「関係取扱者」欄には、全児童相談所長、里親の指導にあたる児童福祉司、係職員又は児童委員の取票氏名を記入すること。

八「各事項の記入にあたり餘白がなくなつたときは欄外を利用すること。

(第三号様式) 里親登録簿

児童に就いて						委託児童調査票	聖相 申出 児童 前	
前 生 産 場	生 育 場		生 日 年	氏 名	本 籍			住 所
	精神	身体						
心理 能知	島真旺布							
I. M. C. Q. A. A.	なげれば眠らなくてもよい							

(其の二)

昭和 年 月 日 調査
 証 印

児童との
間柄

児童との
間柄

登録番号

事項

生活	診査者	身体的状態				
		身長	体重	胸囲	ツベルクリン皮内反応	特殊
	取 氏 名					
	年 月 日					

近隣	家庭	居住	学的検査	
			検査者	性格
		敷地 坪 一戸建 力	取 氏 名	
		建物 坪 二階建 力		
		自家 数		
		その他 数		
		長屋 力	年 月 日	

※は市道府縣が記入すること。

※	項 事 定 沢 ※							見 意 の 長 所 該 相 宜 見	費 員 委	
	期 間	着 手 日 付	委 託 日 付	住 所	氏 名	里 親	年 月 日			
※							年 月 日			
	尔									
	後									
	経									
	過									
		項 事 至 べ ず 守 遵 び 及 意 注								

印

(第三号様式)

「記・載」上の注意

一 本票は、第四の(内)によつて里親に児童を委託する場合、その里親の「家庭調査票」の次に挿入し、ここに合せて里親登録簿とする。

二 本票は、児童一人について一票とし、児童二人以上になるときは本票のみを追加すること。

三 本票は、児童相談所において必要な事項を調査して記入する。

四 「医学的診査」の行をかえること。(1)「生育」欄中「身体発達の状況」の項には、(1)胎児期、出生時の状況、(2)乳幼児の栄養、産乳、生歯、歩行の早熟、(3)病后回復の時期、期間、程度等について詳しく記入すること。「精神発達の状況」の項には(1)言語についてその発達の有無、明瞭さ、(2)知慧力についてその初発年齢、異常の有無、(3)その他精神病的徴候、特殊習癖について記入すること。

五 「遺伝」欄には、父母、祖父母、父母の血族淋尿者等について精神衰弱、精神幼稚、精神病の有無を記入すること。その他若しこれ等の者に結核、梅毒、大酒、自殺、喪死、前科等のことかあればそれも記入すること。

六 「身体」の状況「測定」「特色」の項には、顔貌、食慾、疲労、睡眠、遺尿、不具等たとえば顔貌については、「生き／＼として健康さうである」。「敵知的である」。「特に顔色わるくとしよりに見えて見える」について記入すること。

七 「生活」欄には、児童の生活実態へ児童が現在まで生活時間をどういふように使ってきたか

についてできるだけ具体的に記入すること。

六「家庭」の欄には、家庭の状況をできるだけ具体的に記入すること。

七「近隣」の欄には、近隣の状況や娯楽地、商業地、工業地、住宅地、スラム街、観音地、その他

近隣上の折台がよいか、風評、社支状態等を記入すること。

八「児童相談所長の意見」の欄には、児童をどの里親に委託することが適当であるかという意見を理由を具して記入すること。

九「決定事項」の欄には、特に注意すべき事項及び遵守すべき事項（主として児童の労働に關して）に対する意見を具体的に記入すること。

十「登録番号」の欄には、里親登録番号を基にして設けること。たとえば里親登録番号が「五〇」の場合、児童の登録番号は「五〇一」児童が二人以上の場合「五〇二」、「五〇三」とする。

十一「各事項」の記入にあまり餘白が足りなくなつたときは附外を利用すること。

(第四号様式)

年 月 日

里親住所

氏名 殿

知事 名

児童委託通知書

児童 氏名	住所	生年月日	性別	児童相談所 長	至親の拘束 ありたき重傷 児童虐待 又は児童委託	生		児童相談所 長
						本籍	住所	
児童 氏名	住所	生年月日	性別	児童相談所 長	至親の拘束 ありたき重傷 児童虐待 又は児童委託	委託の理由	委託先	児童相談所 長
児童 氏名	住所	生年月日	性別	児童相談所 長	至親の拘束 ありたき重傷 児童虐待 又は児童委託	委託の理由	委託先	児童相談所 長

向と児童
柄の重

生 育 所

児童相談所
委託の状況

児童相談所
委託の状況

住所

児童相談所
長

至親の拘束
ありたき重傷
児童虐待
又は児童委託

児童相談所
長

知事 名

星 龍 谷 依 園 号

項 事 せ ぶ 注 意	手 託 費 等 に 関 する 事 項	委 託 日 時 昭和 年 月 日	項 事 の て い つ		
			性 直 業 以	格 性	能 知
項 事 せ ぶ 守 遵			厂 活 生		

分 十 一

望親家庭の苦悩へ

あなたはこの子供の親代りとして深い理解と愛護を以て養育して下さいと信じてこの

しをおあげいたします。

育てるということは容易なことではありません。

とつて子供が、健かなからだと美しい心をもったよい人に育ち、あなたの御苦勞がよめるに
かわりませう願つてやみません。

次に家庭養育上のおもな注意について認めます。

(病児の早期発見)

子供の尿健については十分に注意して下さい。特に赤ちやんは、抵抗力が弱いため病気に罹
り易く、又なかく、察りにくいものですから、少し変だとおもうときは一時も早く附近の小児
科専門の医師や最寄の尿健所の医師又は保健婦に相談して下さい。

(学龄兒童の就学)

学龄期にあり子供は、最寄の学校へ通はせ、學習するとき必要な品物を与えるときともに、學
習のよい指導をして下さい。

学校の先生

学校の先生と時々連絡をとつて子供の教育の向上をはかり、子供が学校を休んだりその他問
題のある時はすぐ速急な処置をとつて下さい。

(差別的待遇の不可)

この子供とあなたのお子さんと較べて差別があると、子供は敏感ですから「ひがみ」のもとになりますので気をつけて下さい。

(問題が起きたときの援助)

子供の養育について困難な問題が起きたときは、あなたのように指導者となる児童福祉司保身員又は児童委員の一人に相談し又援助を求めて下さい。

(励ませようと思うとき)

あなたが子供を教育しながら自分のもとで励ませようと思うものであるときは、表の「遵守すべき事項」欄のいろ／＼なことは厳格に守って下さい。

仕事の疲れが蓄まると「災」を招くもととなり、健康も害されますので、子供の年令に相当し、体力にも適った仕事をさせ、なお適度の休憩を与えて下さい。

○満十二歳未満の子供は励ませてはなりません。

○満十五才未満の子供は他人のもとに預けてはなりません。
(他の家庭に一時預ける場合)

○あなたが現在養育している子供を他の家庭の養育にゆだねてはなりません。
但し旅行その他特別の事情のため他の家庭に預けたいときは、あなたおよび指導者となる児童福祉司、保導員又は児童委員の一人の承認を得て、一時ゆだねることができます。
次のようなときにはできるだけ早くあなたのみを指導者となる児童福祉司、保導員又は児童委員に連絡して、児童相談所を全て知事に報告して下さい。

- | | | | |
|--------------------|---------------|--------------------|------------|
| 子供が | (1) 重い病気をしたとき | 里親が | (1) 死亡したとき |
| (2) 家出又は死亡したとき | | (2) 住居を移転したとき | |
| (3) その他重大な事故のあったとき | | (3) その他重要な変更のあったとき | |

(就業承認の申請)

○あなたの養育している子供があなたのもとで新しく仕事に就こうとするとき或は他人のもとで通って働くこととするとき若しくは働いている仕事、場所、労働条件等を変更しようとするときは、児童相談所を全て知事に手続をとって下さい。

第四号様式

記載上の注意

- 一 本票の末尾は、都道府県知事が児童相談所を経由して里親に交付すること。
- 二 第二部を児童相談所に送付し、その一部を里親の指導にあたる者に交付すること。
- 三 児童についての事項欄は、委託児童調査票を基にして要項を記入すること。
- 四 この中の「生活」欄には、最近の生活の様子を細かに記入すること。
- 五 「注意すべき事項」欄には委託しようとする児童について特に注意すべきことがあつたら記入すること。
- 六 「遵守すべき事項」欄には里親が児童を養育しながら自己のもとで働かせようと思つたものであるときは、個々のケースにつき、児童の働く仕事の内容、場所、労働条件等について遵守すべき事項を記入すること。
- 七 其の他、特に必要な事項があれば記入すること。
- 八 「関係取扱者」欄は、児童相談所が記入すること。
- 九 児童相談所長及び里親の指導にあたる児童福祉司、保導員又は児童委員の住所氏名を記入すること。
- 十 本票の記入にあたり餘白がなくなつたときは欄外を利用すること。

(第五号様式)

就業承認申請書

児童相談所

児童

住別氏名

生年月日

身

長

体

重

修了障枚名

昭和年月日

先業事
及仕
児事等

児童と従事せる仕事

場

所

事業場の所在地

賃金労働時間

その他労働条件

児童相談
所見意の長

里親との
親との
他とも
の心

※里親の指導にあたっては児童の意見

児童相談
所見意の長

昭和年月日
都道府県知事殿

住所
里親

印

許可年月日
昭和年月日

記載上の注意

- 一 申請者は必に記入しないこと。
- 二 児童を従事させる仕事、場所、労働条件等は、具体的にくわしく記入すること。
- 三 請負制その他により賃金を支拂う場合は、その計算方法を記入すること。
- 四 「労働時間」欄には、一週間に何時間の日が何日、と詳細に記入すること。
- 五 「意見」欄には、これこれの者が記入する。そして児童の健康上の特性について就業上特に留意すべき事項があれば、その旨を附記すること。
- 六 仕事を変更しようとする場合であれば、事業先及児童を従事させる仕事、場所、労働条件等の各欄とも縦線を引き(旧) (新) おのおのについて記入すること。
- 七 児童に度拂除、炊事カ手伝等軽度の家事の手伝をさせる場合は、承認の申請をしなくてもよい。
- 八 各事項の記入について欄内が足りなくなつたときは、余白を利用してもさしつかえない。

(第6号様式) 指導記録簿

里親の指導
氏名

印

116

(本票は児童の健康性的修学家庭状況指導事項をできるだけ
具体的且つ詳細記載し病气住所移転死亡等は未書すること)

(ふりがな) 番号児童氏名		委託児童の前住所	
生年月日	昭和 年 月 日	前保護者氏名	
里親氏名		委託年月日	昭和 年 月 日
調査氏名	養育状況	里親の住所	
		指導事項 (末尾捺印のこと)	

To the governors of all prefectures

In regard to the family care operation of
Foster and other parents.

There are some points not clear on the subject of Foster Parents in the
Child Welfare Law however it's on since January. Therefore it is
to follow according to "the detail of family care operation" which issued.

Here by we explain you about some details on the operation, we
wish that you give efforts to realise the meaning of
children protection in Foster Care.

No 1 The extent of this operating details of family care.

Children must be protected & cared by their own parents and there's
no better way. If any reason prevent this, there are foster families
and child institutions to take care of them. Indeed a private family
care is far better than institutional group care for the growth of children
in every way. The latter considers about foster care as well and on the
other hand there's adoption care. Thus the said detail is legislated
and included not only the rules of foster family care under C W Law

No 2 but also families of adoptive parents in the civil law.

1. As the Jido Sodanjo chief is the central activity organ for operating Foster system,
it is desirable to have as many children as possible to be entrusted to
foster families through Jido Sodanjo chief.

2 As the foster care is a new system to come out in the C W Law, it is the first requisite to obtain a broad public interests and understanding to promote its realization. Therefore all propagations of foster thoughts are necessary and at the same time, we must make all efforts to have persons who would interested in take child or make good use of the Sodanjo for this purpose.

3 Family investigation concerning to the applicant, will become a very important basic data afterward, so the investigation must be done not only correct but perfect and objective view.

4 A foster father (mother) is a person who desires to take a child to bring up temporarily or permanently and registered on the record, so he (she) is a foster parent even if he is not foster caring actually, as long as his name is on the record.

The foster parent register record has been changed (For simplifying the business) into following

- o Family investigation note (slip) No 2 Form.
- o Entrusted child investigation note (slip) No 3 Form.

Above two slips are delivered to all foster parents.

For being the condition, if foster family receives more than one child in succession, the slip No 3 will be furnished separately in succession as well.

Approval of Foster parent will come into effect when the column of "Governors decision" is filled up, on the slip No 2

5 When give answer to the applicant that he (she) is not suitable, it must be kept in silence as well as taking all cautions not to hurt his (her) feeling or discourage

3

6 A child who is to be entrusted to the foster care, must be straight in mind and character. If there any one to come under the subject, a proper replacing of a child to other dependant home or baby nursery will be considered.

7 Chapter I, No 4, 8, "Case when a person is financially incapable for care" means

o In case the child's relatives (uncle Aunt) also are ~~also~~ too poor to take it (child) as foster care so that the child must be placed into an institution

or

o to entrust the child to another foster family.

or

o apply protection in D L S Law for the child.

above mentioned 3 cases only.

8 When the foster parent to let the child work. Very careful consideration is required. Further on, in order not to destroy child's future, provide all important matters that foster parent should accord.

Ask opinions from the Labor Standard Supervision office

consider about child's age, health condition etc.

9. Guide to the foster parents will be done by a persons, from among Child Welfare workers, Jidoiin, selected by Jido Soclanjo Chief.

These selected persons are to direct foster parents who are not well educated in professional child protection or experience. So the case work of these responsible persons must be operated on the base of this said details.

10 Financial regarding is to be notified separately, but at present it is to be treated according to the subject in "Jihatsu" May 29 1948 No 257 "Matter concerned to the expenditure for various measures under C W Law"

No 3 Adopting Alliance

1 Adopting Alliance is ruled by the civil law. This details of family care would not deny the alliance but rather to make it effective. This details will assist those people who desire to give their own children to other family or even so, there is no connection or introduction to find suitable families. The introduction is obtained through the Jido Sodanjo who will do a proper assistance.

No 4 Propagation of family care system.

1. The system may be well propagated by using following facilities

- (A) To promote the knowledge and understanding of care in families by Daily papers, Radio, Women's magazines, or else pamphlets, posters and leaflets etc.
- (B) For propagation of family care, Jido Sodanjo, C W Workers, Jido iin must fully understand the point. Let jido iin of the responsible area to recommend a suitable foster parents and entrust a child to them. Thus the intentional foster family would make a base of propagation.
- (C) Make a foster village, or introduce a best kind of foster parents to propagate.
- (D) Women's league, Youth corporation, Alumni association of girls college, Physicians society, Midwives Corp etc are to cooperate the propagation.
- (E) If any children suitable should be found, in the area, the jido iin must report to Jido Sodanjo promptly.
- (F) If a police station or physician should find any foster needy children they must make a rapid connection with the Jido Sodanjo.

Details of family care operation



Children protection will be done best in their families under the care of their real parents.

o A child with its guardian (parent) directed to perfect the care. The guardian must be educated or If found that the guardian is not doing the proper care, the child must be cared by other family even separating from the real parents.

o A child without guardian. A measure to accord this details must be taken, or there are C W institutions or families who desire to bring up children.

This detail is to rule the family care operation toward the 2 cases mentioned above. Anyhow all the efforts must be taken for the perfection of family care and child protection, through the Jido Sodanjo as the central organ of activities.

CHAPTER I

What we call Foster parents in C W Law.

No 1 Definition of Foster parents.

1. A person who desires to take a child in-to his own family to bring up temporarily or permanently and his name is registered on the foster list. A child means one without parents or with parents who is not capable in care, so that prefecture governor recognises that the child needs to be properly foster cared. And the child is understood under 18 years old.

No 2 Organs of operating foster care system

6

(1) It is to be operated by prefecture governors, Jido Sodanjo chiefs, instructors C W Workers, Jido iins, chiefs of institutions under C W Law.

Jido Sodanjo chief specially is the central power to have good connections with all other persons & organs to endeavour himself for the realization of successful result of this system.

No 3 Propagation, Investigation and recognition of Foster thought.

(1) Prefecture governor to realise propagation of foster thought by leading Jido Sodanjo chief, child welfare workers, instructors, and Jido iins to raise up understanding & cooperation of general public. At the same time, effort to make increase of persons (who would like to bring up children of other families or who desire to have their children to be cared by others.) would come to consult Jido Sodanjo about.

(2) An applicant (desires to be a foster father or mother) must present the application to the prefecture governor (in the form No 1) through the Jido Sodanjo of his area.

(3) Sodanjo Chief who received the application, must take measure of investigating the family by using C W Worker, Jido iin or leader.

After the investigation, the report of investigation with the application must be presented to the governor

(4) Investigation mentioned in (3) is to be done according to the following items.

1. Applicant ^{Female} Person who in principle charge of care (ie Foster mother) is included.

A. Name, address, Age, Sex, character, personal history, Occupation, Religion,

B. Motive to be Foster parent. Capacity of knowledge or experience of care. Eagerness.

Method of bringing up.

If in case, the F parent desires to make the said child work in future =
Kind of work. Place, condition in working e.t.c.

7

(c) If necessary of presenting certificate about health or diagnosis. Must consult National hospital or Health center for obtaining the certificate.

2 In regard to persons live with F parent under same roof.

A Name. Age. Sex. Relation with F.P. Character. History. Occupation.

B Knowledge about caring children

C Certificate of health condition from National hospital or Health center if necessary.

3 In regard to the family condition of F.P.

A Public reputation. Family atmosphere. B Financial condition

C Housing. D. Sanitation & surroundings. E. Neighbors' criticism.

4 School condition and distance

5 Social and locational condition of neighboring areas.

6 Other matters considered important.

(5) Foster parents must be recognised by the following standard.

1 Foster applicant and those who live with, have enough affection and eager experience of care, especially so in mother.

2 Family life is light in mental and financially. Financial condition does not have to be absolutely good but possibly easy on living.

3 The motive of taking in child is not on the object of using child's labor. neither on the aim to take the entrust fee.

4 There is no person, who carries a special health condition to effect on the child, among the F.P and those who live in the same home.

5 Family, House, the surroundings and others are suitable for the child in health & education under child welfare.

6 In case of baby, mother's milk must be plenty.

7 It is desirable to have no child of about the same age as the child entrusted in the family.

8 The applicants family must have their children less than 6 in number including the entrusted child.

9 The ages of the applicants (parents) are about the same as those of parents of entrusted child.

(6) In regard to the recognition of foster parents according to (5), the governor is to consult with district CW Workers committee. After the permission, all important articles must be put on the foster registration record.

(7) In case the foster father (or mother) gets attack of any sickness after the application (so that they would not be able to take in a child) prompt report to the governor through Jido Sodanjo chief is required.

In this case the governor should cancel off the name from the record after the consultation with Sodanjo chief.

(8) If the applicant is recognised not suitable, the governor ^{is} to send notification to him (her).

No 4 Entrusting.

(1) If the prefecture governor wishes to take measure or change measure according to the rule Article 27 clause 1 No 3, he must make the foster parents as capable & active as possible. In case entrusting any children of weak, imperfect function, feeble minded, delinquency etc the child can only be entrusted to the foster parents who have enough knowledge or experience about.

(2) For entrusting, the prefecture governor should choose the most suitable foster parents.

(3) When Jido Sodanjo chief received a child informed by regulation of the law, or with consultation, he must judge that the child is entrustable or not by putting him (her) under examination of physical, psychological and surroundings. And when the child is recognised suitable to be entrusted, the report

9

in the form No 3 (separate sheet) to the prefecture governor is required.

(4) Jido Sodanjo chief must keep in touch with institutions of his responsible area to know thoroughly about their condition. When he gets any application of entrusting children, who need to be foster cared, among those accommodated, he must take a proper measure or resources.

In such case, Jido Sodanjo chief to put the said child under investigation of health condition, mental power, character and living history etc and must report to the governor in the form No 3.

(5) When the governor is to entrust a child to foster care in the measure or change measure under the rule Article 27 clause 1 No 3 he must consult Jido Sodanjo chief Chief of institution (in care of entrust) the said child the guardian to hear the opinion.

In this case, the governor is to tell the said child and its guardian about the foster parents and foster entrust fee.

(6) To entrust a child to Foster care, the prefecture governor is to forward a document containing child's name, Age, sex, health condition, mental power, character, living state and other important matters concerning to the care, to the foster parents through Jido Sodanjo in the form No 4. at the same time fill the registration book with important matters.

In this case one of the CW Workers, instructor Jido in of the responsible area to have a copy of the same and lead the said foster parent. This must be informed to the parent also.

(7) To entrust a baby, Sodanjo chief is to forward mother & child book with the said baby. Foster parent without the book, must apply to the chief of (City town Village) to get its delivery ^{an applicant}

(8) The prefecture governor can not take legal resource to if the child is in his relatives (3rd relationship) The child of this situation can be foster cared but not accords to the rule. But it is excepted when uncle or aunt of the said child is not capable of caring in financially

(9) The prefecture governor cannot entrust any children to any applicants who already have been planning to let foster children work or attend some places.

(10) In case the parents desire to have foster child work as well as care, the governor must give the F P a document which illustrate all what F P to obey (in the form No 4 mentioned in (6)) through Jido Sodanjo.

But even this case the said child must be under 12 years old.

To execute & decide the above condition, the applicant must not only have serious consideration but strictly accord to the following matters

1. For a child who finished the responsible education course (Primary)

must not make the child work over 7 hours a day or 42 hours a week.

For a child who still attends school.

must not make the child work over (including school hours) 6 h a day or 16 h a week.

2. Must not give child a job connecting with danger or heavy weight.

Can only give a very easy light job to a child who attend school.

3. Must not give child any other works which would hurt the child mentally & physically

4. Must not let child work from 8 PM to 5 AM.

(11) The prefecture governor can not allow foster parents to take in more than two children at a time in the same measure, unless on the special condition that they are brother & sister.

When a foster parent, who already is taking care of one, desires to have another one as foster care, the prefecture governor to entrust another said child after consulting Jido Sodanjo chief, and C W Workers, instructor and Jido iin (who come under the rule (6))

11

No 5 Trust competence toward Jido Sodanja Chief.

(1) According to the law article 32. the prefecture governor should extent the trust competence of Jido Sodanja Chief as far as possible.

After the trust, the rules may change occasionally due to the limit of the competence. In these cases the sodanja chief is to report at every time to the governor.

No 6 Protection at the Foster family.

(1) The foster parent must bring up the said child as a member of his own family and give him (her) enough affection and sweet family atmosphere so that the child will grow up a good person of knowledge and health in future.

The family should be peaceful and must avoid any sorts of words that would spoil him (her) and, in a certain extend, the family should respect the self controlling mind of the child.

(2) Food of variety, with albumen, nourish enough to raise the calories for perfect health. Bill of fare must be the same as all others and have a happy table together. If the mother has trouble in milk for baby foster, she must secure cow milk or goat milk through the help of neighbor health center, pediatrician or health nurse. And proper regular artificial nurture needed.

(3) For school aged child, it requires schooling, stationary supply or study preparation at home.

(4) Have consideration on not only the child playing areas, play things (toy) book to read etc but friends to associate. In the latter case, the parent should always be careful about their language and belongings so that the child would not be influenced into delinquency, but to reform even.

(5) Cloth the child properly and also mend, with keeping clean all the time.

(7) Give bath 3 times a week at least for baby.

(8) The family should provide a certain variety of medicine and home use medical effects.

(9) The parents must always watch on the growth & health condition of the child, and anything wrong should happen, immediate consultation to health center, doctor, and nurse is importance.

When the child had an attack of serious disease, or something unusual matter should happen, the FP must report to the governor through the Jido Sodanjo after consulting ^{(No 4 (6))} C W Worker, Jido iin of responsibility.

(10) It requires the help of C W Worker or Jido iin (No 4 (6)) in case any thing happen or likely to be happen about the child problem.

(11) The child should not be treated cruelly or in any work that will harm the health, education and any other child welfare.

(12) The parents must treat the child equally as the others.

(13) The parents are not allowed to entrust the foster child to another family unless they are to go on the trip, or inevitable reason to make a temporal absence. In such case, the child can be protected in other family for time being after having recognition of C W Worker, Jido iin, instructor (No 4 (6))

(14) Foster parent is not allowed to make the said child (under 12 years) work. (except sweeping garden, help cooking, and other easy family help.)

(15) Foster parent is not allowed to make the said child under 15 years old to attend other place for working.

(16) Foster parents to apply permission of Prefecture governor through the Jido Sodanjo in the following cases:-

A. The child starts working at foster home.

B. The child is going to be at work in some place after grown up as far as 15 years old at home.

C. When the actual working child to change work or place.

- In case B. The child is to follow the rule of the Labor Standard Law. at the place to work.

- When the governor received an application as (16).

Kind of work, place, labor condition etc are to be investigated and He will give permission after receiving the approval of Jido Sodanjo chief, C W Worker, instructor, Jido iin that the work will not effect on the care of the child. (No 4 (6))

- In case of A. The parent must receive and understand the document as explained No 4 (10)

(17) When the foster parent died, or remove residence, other importances should happen, prompt report to the governor through the Jido Sodanjo is needed, although the said child has grown over 18 years old.

No 7 Leadership

(1) To expect the perfection of leadership toward foster parents, the Jido Sodanjo chief must take a copy of every record of an entrusted child, and fill in additional matters also if anything happen after the entrust. So that it is clear to see at a glance how the conditions of all cases are. (No 4 (6))

Sodanjo chief is to give notice or advise when necessary to all responsible C W Workers, Instructors, Jido iins about leading foster parents.

(2) During the period of entrusting foster children, Jido Sodanjo chief must direct C W Workers, instructors and Jido iins to visit foster families periodically to lead their foster caring. (No 4 (6))

Above mentioned visit must be done as follows:-

Fortnightly during 2 months directly after the entrusting.

Once a month 2 months after ward.

(3) Besides those visits, C W Workers, instructors, Jido iins, shall pay visit by any requests from the foster families, at each time. (No 4 (6))

(4) In such case (3), they must investigate and make proper decision to help them kindly as far as they understand well.

(5) The responsible C W Workers, instructors, Jido iins, are to make record book of visit, and fill up all what's done at every visit and report to the Sodanjo Chief. (Form No 6)

Sodanjo chief who received above mentioned reports, must also report the same to the governor in case of necessary.

(6) If discovered anything not suitable for foster care, or foster parents to disobey the thoughtful advise, responsible C W Workers Instructor Jido iins (No 4 (6)) are to report Jido Sodanjo chief with adding their opinions.

(7) If either side of Foster children or Foster families in case found incapability of continuing, prompt application to the governor through Jido Sodanjo must be done.

14

(8) If they have right reasons as (6) (7) or sickness etc. the governor of the prefectures can discharge or change the measures in the rule Art 27 Clause 1 No 2 after consulting CW Workers, instructors, Jido iins (No 4 (6))

In above case (discharge) the governor to cancell off all participating ^{records} of the said foster parent (or child) from the register record.

No 9 Connections between all prefectures.

(1) When the Prefecture governor to entrust children (of his prefecture) to foster families of other prefectures, he is to ask finding out the suitable foster families to the governor of other prefectures with all papers participating to the said children.

The other governor who received demand, is to select a suitable foster family he sends all papers, regarding to that foster parents, to the former governor at the same time, not only informing to the family about, but also put the details on the registered record. Then the former governor can place the child to that suitable family as foster care.

(2) When the governor of the prefecture has not suitable children to be foster cared in his prefecture, although there are foster families, he would send all papers regarding to the foster families of his prefecture to the other prefecture governors, and he must inform to the families as well.

Then the governor to entrust children to the F family according to the details explained on those papers.

(3) When the governor found that entrusted foster parents are not residing or else removed, send all participating papers to the governor of the prefecture where the said parents live or moved in, also the parents to be informed about.

(4) If any foster parent receive an entrust from a governor who is not controlling his (FP) area, the F parent to follow the direction of his ^{Prefecture} governor and report him in case No 6 (9) (16) (17)

15

If anything to interfere the measure in the rule Article 27. in above case, the responsible governor must report to the governor to whom the child was entrusted.

(5) The governor who received help^{or} report about foster parents, he must make all close connection with those parties and cooperate.

No 10 Expences.

(1) When a child is entrusted according to the law Article 27 clause 1 No 3 the expence (for all measures) is as follows:

For caring the child to be paid at the beginning of each month.

For Medical use to ----- end -----

(2) The prefecture governor to pay the entrust need directly to the foster parents whom he entrusted even if he (she) is not living in his (governors) prefecture.

(3) In case a foster father (mother) refuses to accept entrust payment, the governor does not need to pay him (her)

Chapter II

Adopting alliances.

No 1 Practical use of the Jido Sodanjo

(1) Jido Sodanjo chief must make effort to find out and assist those families who would come to consult about adopting or giving their children to be adopted.

No 2 Investigation & Recognition.

(1) When any one comes to Jido Sodanjo for desiring to adopt a child, the Sodanjo chief must recognise whether the person is suitable or not, as an adoptive ^{Father} _{Mother} after investigating his family.

(2) When received a consultant who likes to have ^{his} _{her} child to be adopted, the Sodanjo chief must investigate the child.

For investigation & recognition, foster care rules applied.

No 3 Resources needed for adopting.

16

(1) After the investigation & recognition, the Sodanjo Chief will succeed in working out the alliance having both desirers and children (informed by regulation) The alliance to be succeeded in following rules.

In this case, it is advisable that the child is to be cared as though like their own at least 6 months unless there are inevitable conditions.

⊙ The child's domicile must be clear.

- A The alliance must be realised when
- the child (over 15) wishes to be adopted.
 - the child is under 15 and legal representatives (including chief of institution) also desire the alliance.

But even in this case, the permission of the Family Court is required.

- B When the child is under 15 and there's no legal representatives the Sodanjo ^{Chief} can be the guardian (if he is selected according to the civil law article 841) to succeed the resources.

⊙ No domicile or not certain.

- C. If the child is abandoned, it must be reported to (City town Village) chief to decide census register and also prepare for selection of the guardian.
- D. The other case of unascertained domicile; take resource of registering child by Census law Article 112 (A & B)

No 4 Separation

When the child (under 15) is found in result that not proper as an alliance, the Sodanjo chief (who has right of permission) can apply for the separation if the parents do not take any measure.

17

Form No 1

APPLICATION of Foster Parent

Received Application Number * Date No * Name of Soelango through *

Desireble child Age years months other desireble matters Motive of desiring child sex

Name of Foster father Date of birth Actually years Foster Father Occupation
 Name of Foster Mother Date of birth Actually years Foster Mother Personal History

Permanent address Present residence Traffic Target Telephone Telephone Foster Mother Occupation Personal History

Health Condition F Father F Mother Period of care Mothers milk sufficiency If enough, how far last.

Persons who live with Foster parents	Name	Age	Sex	Relation	Health Condition	House & Surroundings	Site area			Tubo
							House area	Stories	Zone	
							Own	Rent	Rooming	

Desire about entrust fee Care system If the child is made to work what work, where Labor condition etc

To the Governor Mr -----

Date Applicant _____ (stamp)

Continued

Notice in filling up the Application Form No 1.

18

- 1 Must be filled by the applicant.
- 2 * Place is filled by Jido Sodanjo
- 3 All the rest to be written clear and precisely as possible.
- 4 About Motive. write as --- sympathy on unfortunate children, or own child has grown up and there made some room for new care, or childless, or plenty of mother milk etc
- 5 Foster father means the applicant, Foster mother means the woman who is responsible for caring the children.
- 6 Occupation. Write the Name and classification of business.
- 7 Personal history :- write the Name of the last school and make clear about graduated or retired. Also all occupational history after the graduation.
- 8 Traffic Target :- Station to leave, distance from the station etc
- 9 Health condition Write present states -- as - Perfect, normal, a little better etc. Write if had an attack of serious disease before.
- 10 Period of care. Write approximate how many years he desire (or plan) to take care.
- 11 Desire toward entrust fee. Desirable amount, Needed part of it, No need, etc describe precisely.
- 12 Care System How far let the child attend school, if any plan of adopting in future, Any plan to let him help the occupation in future, Intention of future profession, and others. Precise description is required.
- 13 In the column "let the child work," Only the applicant (who desires to make the child work) to fill up this column; no other applicant needs to feel in.

19

Form No 2 Registration Record of Foster parent

Register No _____
Date of registration _____

Family investigation card.		Jido Sodanjo through	DATE						
			Investigator	Sign					
Matters concerned to the Foster parent	Residence	Permanent address							
	Traffic Target	Telephon							
	About Foster Father	About Foster mother							
	Name	Actual -- years old	Name	Actual -- years old					
	Occupation								
Personal history									
Health condition + character	Mother milk condition + How much								
Religion									
Motive to be foster parent	Eagerness and knowledge of care.		Care system						
In case of making child work, kind, contents, place, condition of work.									
Persons who live with the foster parents	Name	Age	Sex	Relation	Health	Character	Occupation	P. History	Knowledge about care.
Family Condition	Residence	Site Tubo Rent. Own.	Buildg Tubo Room	Public reputation (Trust)		Family Atmosphere			
	Sanitary view of surroundings	Ventilation dry	Lighting wet	Neighbors Comment		condition of school and distance			
	Areal & social condition			Condition of people come in & out					
	Livelihood. Property Account	Past year record.		Property Tubo Actual Price	Farm Tubo	Wood Tubo	House estate Tubo	House Tubo	other movable property ¥
Entrust Fee	Income ¥		Expenditure ¥	Duration of care					

(No 2 Form continued to the back page)

* Opinion of the Jido Sodanjo Chief		Permission of the Governor	
Date	Sign	Date	Sign
* Matters for Final decision	Name of the child	actually year	month Sex
	Date of entrust		actually year month Sex
	Entrust fee		
	Duration of care		
Persons Participate			
* Condition of after care			
Date			

Form 2 Notice in filling

1. Family investigation and Entrusted child investigation are to be binded in one and presented to the governor as the Foster Registration Record.
2. The foster registration is numbered from No1 at each foster parent, but leave in the way when an abolishment is made.
3. All investigation results to be put on by CW Worker, instructor and Jido iin who were sent by Sodanjo. The investigation must be precise and objective.
4. Occupation.
 - Independent case. (Farm, Aquatic, Forestly, Mining, Commerce, Architekt, transpotation etc)
 - Employed case (classification, business hour, Office, rank contents of the work)
 - Free case (name or kind of occupation)
 - Unemployed
 Make clear about above mentioned classification
5. History The last (Highest) school graduated or retired.
describe several business histories etc required.

- 21
- 6 Health condition Present state as precisely as possible, also any disease of past T.B., Contagious, V.D., hospitalization etc (except surgical operation)
 - 7 Religion Worshipping what religion and possibly some description about.
 - 8 The motive Write as positively and precisely as possible.
 - 9 Knowledge and eagerness about the care. Make it clear + positive so that would prove there's no intention of expecting child's labor or wasting entrust fee.
 - 10 Care system. Planning how far the schooling, Adoption after bringing up, Expect help in future, Intention of child future occupation. and other
 - 11 To make the child work. Contents of work, place, Labor condition etc but this is to be filled up only the case when FF has the intention
 - 12 Public trust, Family atmosphere, condition of people who visit, neighbor comment. For finding above points, it is required to take in what neighbors talking about.
 Residence Style of construction Number of Tatami size etc.
 Aereal + Social Condition for instance Farm district, commercial area, Residencial, slum, Amusement etc
 Sanitary condition Clean or not, Sewerage,
 School condition Surroundings, speciality distance etc
 - 13 Entrust fee Put an Amount that the applicant desires and also considered it sustaneial. (use red ink)
 - 14 Period of care. Taking the applicant desire, write down the suitable duration.
 - 15 Opinion of Sodayo Chief. (also opinion about entrust fee)
 Positive opinion and reason about Suitable or not.
 - 16 Recognition of the governor. Adapting the opinion of district C W Workers committee and in case of suitable,
 write Recognized (in red ink) and the date.
 Otherwise
 Not recognized (in red ink) and the reason.

17 Participating persons (Ones of Jido Sodanjo Chief, Workers, guardian; Jido in who in charge.

18 In filling up, use blank part out of column when all the columns were filled and there's further writing.

Form No 3

Register No

No 2

Investigation card of the Entrusted child		Jido Sodanjo through	Date of investigation inspector Stamp		
Matters concerned to the child	Present residence		Matters of Guardian and Institution chief	Address	
	Permanent address			Name	
	Full Name		Name	Relation with child	
	Date of Birth			Relation with child	
	Actual Year months		Address		
Medical Diagnosis	Growth	Condition of growth	Psychological Examination	stick PHOTO	
	History	Condition of Mental growth		Do not need photo if not possessed.	
	Hereditary			Mental character C A M A I Q	
	Physical condition	Height Weight Girth Tuberculin reaction BCG Condition Body shape. Speciality Tend of disease attack Peculiarity in sickness		Other trouble if any	
Responsible doctor Name		Date of birth	Responsible doctor	Classification Name	Date of birth
Living History			Residence	Site tubo 1 house or more Tenement	
				Building tubo 1 or 2 storied	
				Own rent rooming	
				Number of rooms Number of Tatamis	
				Family	
				Neighbors	

23

Committee expeuce			
Opinion of Jido Sodanjo chief	Date	sign	Notices & subjects to obey
* Matters of Final decision	Name of the Foster parent		
	Address		
	Date of entrust		
	Entrust fee		
	Period of Care		
* Condition	after-ward		

Notice in filling Form No 3

1. This card is to go with (as Foster registration record) the Family investigation card when a child is to be entrusted according to No 4 (6)
2. Each child for one of this card used. But when more than two children to entrust (in one family), this card (Form 3) added (Not more than one family investigation is required)
3. This card is to be filled with important investigated subjects by the Jido Sodanjo.
4. Medical diagnosis must be started on fresh new line.
Growth History (condition of growth) column.
 - Condition at time of Foetus, of Parturition.
 - New born baby period, ... Nurture, Wean, teeth growing, Walk
 - Sickness Period duration length of time etc
 Mental growth developement of speaking (Fast slow clearness) and all other importances about mental function + growth.
 Heredity Any disease with relatives (Parents, Grandparents etc) such as T.B. VD. Mental D. Feeblemind. Idiot. Topor. Exconvict. Suicide etc Peculiar nature ---

Physical condition. Speciality, means sleeping wet bed. complexion. Looking Appetite strength.

About looking - lively, gloomy, healthy, intellegency, looking old. etc

5. Living history That is actual fact of the child that how the child has been spending time so far. Write positively

6 Family condition Write true condition precisely.

7 Neighboring condition Areas of Farming, Commercial, Factories, Residencial, Slum, Amusement and other things like reputation, comment, agreeable terms e.t.c.

8 Sodanjo chief opinion. The opinion and the reason for suitable to entrust the child

9 Final decision Write all details (specially about child labor) also the subjects to obey as positively as possible

10 No of register is based on that of Foster parent for example.

- Register No 1 Foster parent.
- " No 1 (1) " child
- " No 1 (2) " child 2nd foster if any and so on

11 Use the blank space if all the columns filled and not enough to write.

No 4 Form

Date

To Mr (Foster Parent) Address

From Governor

Foster parent Register No

NOTIFICATION		child entrust	Tido Sodanjo through
Name of child		sex	Sodanjo cho
Date of Birth		Actual year months	CW Worker Guardian
Present residence			Tido iin in charge
Permanent address			Address
Name Guardian		Relation about	

25

In regard to the child	Physical condition		Growth History	Physical development condition
	Mental Power			Mental development condition
	Character		Living History	
	Suitability of occupation			
	Date of entrust		Other subjects to obey	
	About entrust fee			
	Other matters to take notice			

To All Foster parents

We forward you this booklet believing you take care of children as their own parents with full of affection and understandings. It certainly is quite an effort to bring up the children. We heartily wish that all your efforts would not end in vain but turn into gratitude to see the good results having grown up in splendid characterized children.

Here by we again leave you some thing that you keep in your mind.

Early discovery of child sick. Do pay attention to the health of children, specially babies who very easily get attack since they have no resistance and hard to get well. When you notice even a slight wrong, you must consult, immediately, a pediatrician, health center, or health nurse of neighbor.

Schooling for rearing aged.

School aged children must be attending school, and not only supplying stationaries and other all what they need but give them preparation for school lesson.

Teachers at school

Must make a good connection with them, for the development of their work or conducts. In case of absence (without word) or anything wrong found

immediate measure must be taken.

Unjust of discriminative treat

Do not make any distinction between the said child and your own, otherwise the child will become jealous for being sensitive.

Help in case of trouble

You'd better consult and ask help to C W Worker, instructor, Jidoiin who guide you, in case any trouble happend during the care.

To make the child to work

If you desire to have the child work under your care as well as schooling, you must faithfully obey the matters we indicated. Better give him (her) suitable job for the age and strength, not to hurt the health. A child would go into misfortune when gets too tired. Also an adequate rest is quite necessary. You must not use any children under 12 years old. You must not make a child (under 15 years old) attend other place to work.

In case, put the child into other family for a temporal care.

You can not leave the child to the other one's care, unless there is a strong reason such as going for travel etc. In such case you are able to do this under an approval of your C W Worker, Instructor and Jidoiin.

The righteous reasons

Reasons (The child concerned)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. Attack of heavy sickness | Died |
| 2. Runaway or died | Changed residence (F.P) |
| 3. Other serious events | Other important changes |

27

Application for labor permission

Take measures from the governor through Jido Sodanjo in the following cases.

The child starts to work under the care.

The child starts to attend other place to work.

The child changes the work, place, labor condition etc

Notice in filling Form No 4

1. The card is to be forwarded to the foster parent, from the prefecture governor through Jido Sodanjo. Two copies must be made; one to leave at the Sodanjo other for a person (who in charge of direction)
2. Matters concerned to the child: column Details to be put in on the base of Entrusted Child investigation
 Living History: Write precisely (detailed) about the latest condition.
3. Other matters to take notice: Any noticable point about the child to be entrusted.
4. Other subjects to obey: In case, the parent makes the child to work.
 Contents of work, labor condition, Place, and others detailed.
5. CW Worker guardian Jidojin: This column to be filled by Jido Sodanjo.
 Also the addresses of Sodanjo-chief and responsible persons.
6. Use the side blank space if all the columns filled up.

APPLICATION for Permission of starting work					Date of permission *	
					Jido Soedanjo * Through	
The child	Sex	Name	Date of birth	Height	Weight	School graduated Date
Working place Labor condition & others.	Name of the place for working		Location of the working place			
	Work that child does		Place	Borrowing	Labor hour	Other labor condition
		At home with father				
		Attend other place				
Opinion of Jido Soedanjo chief	* Opinion of the responsible person in charge			* Opinion of the said child.		

To the Governor _____

Date _____

Address
Name F Parent Stamp

Notice in filling Form 5

1. Applicant must not write in *
2. Detailed explanation required in child's labor regards.
3. If the child's labor is in contract system, the precise figures of wages to be written.
4. Labor hour: How many hours a day and week what date e.t.c.
5. Opinions. All required opinion, must write every important point as well as any special character of the child.

29

- 6 In case of changing works, put down the place condition, work classification and all underlined and show new & old clearly.
- 7 It is not necessary to apply, when in the mere case that the child helps cooking or sweeping in the garden and any other light house work.
- 8 Use the side blank spaces when all the columns filled up and there's further writing.

Form No 6

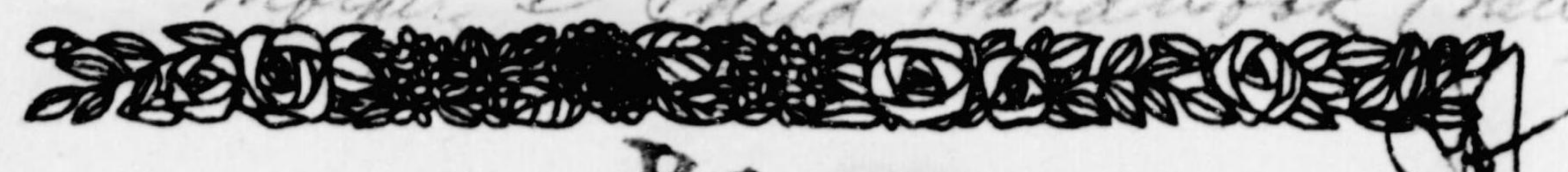
Responsible instructor	
Name sign	

No _____

As this is the perfect explanation of child's health, schooling, family condition and all important instruction report, so a detailed writing required specially sickness, moving, death etc

Number #		Former address of the child	
Child's name		Former guardian's name	
Date of birth		Date of entrust	
Foster parents name		address of the	
Investigator's name	Care condition	Foster parent	
		Instruction points	
		Name sign	

Mother & Child Handbook (1920)



都 NO.

母子手帳

昭和 年 月 日 交付 *date issued*
昭和 年 月 日 出産 *date birth*

母の氏名
Mother's Name

子の氏名
Child's Name

産科医の氏名
Obstetrician's Name



Birth reported ~~card~~ certificate
 出生届出済証明

<i>Baby's name</i> 子の氏名		<i>sex</i> 男・女
<i>Birth place</i> 出生の場所		番地 <input type="radio"/>
<i>Birth day</i> 出生の年月日	年 月 日	
<p><i>Concerning the report the person I am</i> 上記の者については 年 月 日 <i>certify that I was received the report of</i> 出生の届け出があつたことを証明する <i>Birth</i> 年 月 日 date 年 月 日 chief of block or town or village 印 市区町村長 stamp</p>		

赤ちゃんが生まれたときは、戸籍法による出生届を、出生地の市区役所、町村役場に届け出て上欄に出生届出済証明の記載をうけて下さい。

When the baby was born, you must be present the report of birth by the census registration law to the ward office of the village office, and you will receive the statement of the birth reported certificate (1)

Discription of PREGNANCY
妊婦の記事

RESPONSIBLE
PERSON

妊婦の氏名 フリガナ	NAME OF PREGNANCY Birthday 年 月 日	変更届出 受 理	責任者 印
		RECEIVED DATE OF ALTERATION REPORT	
ADDRESS 居住地		年 月 日	
		年 月 日	
HEAD OF FAMILY 世帯主の氏名		年 月 日	
出産 予定日	ARRANGMENT OF BIRTH DAY. DATE 年 月 日	年 月 日	
いままでの出産の有無	EXPERIANCE OF CHILD BIRTH Number of children born. 有 回(現在生存している子供の数) 名・無		
いままでの流早死産の有無	流産(3箇月まで) EARLY BIRTH 回 TIMES 有 早産(死産を除く) DEAD " 回 " 無 死産(4箇月から) " 回 " " 無		

THE EXPERIANCE EARLY BIRTH AND DEAD BIRTH

LAST & FIRST MENSES DATA

最終月経初日		年	月	日	
MEDICAL EXAMINATION					
診察検査 指導年月日	妊娠 月数	記事	診察検査の所見 保健指導の要領等を記入す		印
年	MONTHS	DISCRIPTION & NOTICE			印
月	FROM	CONCEPTION			
年					
月					
年					
月					
年					
月					
年					
月					
年					
月					
年					
月					
DOCTOR		ADDRESS			
MID- WIFE NUMBER	医師 助産婦 保健師	住所 氏名	NAME	電話番号 TEL	印
	医師 助産婦 保健師	住所 氏名		電話番号	印

BIRTH STATEMENT
 出生申告書
 CHIEF OF BLOCK & CITY
 市区町村長

殿

切 取 線	CHILD'S NAME 子の氏名	SEX (男・女) 性別 (單双胎)	
	THE PLACE OF REGISTER. 本籍		
	BIRTH DAY 出生年月日	A.M. 前時分 HOURS 日午後	
	MONTHS 月数	MINUTES 分	
	NUMBER OF MONTHS 在胎月数	LIFE OF IMMEDIATELY 死後即時の生死	
NEW 新生児	NATURAL CHILDBIRTH X 自然分娩開始・人工中絶 ARTIFI	UNUSUAL IN THE CHILDBIRTH 異常な出生	AT HOME HOSPITAL 自宅・病院 助産所・その他 MATERNITY HOSPITAL
新生児の体重	THE WEIGHT OF THE BODY OF BIRTH TIME 出生時の体重	出産の場所	RELATION OF CHILD 新生児との続柄
NAME 氏名	ADDRESS 居住地	OCCUPATION 職業	STAMP
GUIDANCE OF CHILD 保護者	DISTANCE OF BIRTH CHILD TIME 分 助産所 助産婦 助産所氏名		
NAME 氏名	DOCTOR X MIDWIFE		
備考 ITEM	Important in Birth 出産申告いたします 住所 address 年 月 日 氏名 name		

about the birth report
出産申告書について

1. 出産したときは出生の場合でも、流産又は死産の場合でもこの裏面の申告書を切り取つて所定の事項をかいて出産後十四日以内に居住地の市区役所、町村役場に届けて下さい。
2. ×印の箇所は出産を介助した医師又は助産婦が必要事項を書き、不要の文字を消してもらつて下さい。医師又は助産婦が介助しなかつたときは、申告者においてわかるだけ書きこんで下さい。
3. 新生児欄には出生の場合は全部書いて下さい。流産又は死産の場合は氏名欄に「死胎」出生後届け出までに死亡したときは「死亡」と書き本籍欄は書く必要はありませんその他は出生の場合と同様全部書いて下さい。
4. 新生児の保護者欄には出生の場合のみ書いて下さい。保護者とは親権を行う者（親権を行う者がいないときは後見人又は後見人の職務を行う者）の事です。
5. 双胎児（ふたご）以上の場合は各児毎に一枚ずつ申告書を出して下さい。
6. 出産後出産申告までの間に母親が死亡したときはその旨及び死亡原因を申告書の備考欄に書いて家族の方からお届け下さい。
7. 出生の場合はこの出産申告のほかには戸籍法に依り出生届を出して下さい。尙妊娠四箇月以後の死産の場合には出産申告のほかには死産証書に医師又は助産婦の記入をうけた死産届を出して下さい。

Description for childbirth
お産の記事

Time of childbirth 分娩日時	year. month day AM/PM 年 月 日 午前/午後	hour. min. 時 分
Month of pregnancy 胎月数	months ヶ月	自然分娩開始. 人工中絶 The condition of baby after birth
Sex 男女別	Male 男. Female 女. Unknown 不明	分娩直後の児の生死 Alive 生. Dead 死
Weight 体重	grams 両(貫 匁)	
UNUSUAL OF CHILDBIRTH 分娩異常	種類 SORT 有 YES 原因 CAUSE	NONE 無
BLEEDING 出血	SMALL QUANTITY 小量. MIDDLE QUANTITY 中等量. LARGE QUANTITY 多量. (匁)	MULTIPLE 此
OBSTETRIC SURGICAL OPERATION 産科手術	種類 SORT 有 YES	NONE 無
特別なる児の所見その他参考となる事項	NOTICE OF SPECIAL CHILD. OTHER ITEMS OF REFERENCE	
ASSISTANCE OF CHILDBIRTH TIME 分娩介助者氏名	医師 DOCTOR 助産婦 MID-WIFE	Stamp 印

NAME

(6)

MOTHER HEALTH CONDITION AFTER CHILDBIRTH
産後の母の健康状態

MEDICAL EXAM.		NOTICE OF MEDICAL EXAM.	
診察検査指導年月日	分娩後月日数	ITEMS 記事	診察検査の所見 保健指導の要領等を記入
	年 月 日		stamp ED
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
医 師 助産婦 保健師	住所 ADDRESS 氏名 NAME 電話番号 TEL		stamp ED
医 師 助産婦 保健師	住所 ADDRESS 氏名 NAME 電話番号 TEL		stamp ED

DESCRIPTION OF CHILD.

こどもの記事

RECEIVED
DATE OF ALTERATION
REPORT

出 生 児 所	氏名 利が名	NAME		変更届 受	出 理	責任者 印
	本籍	THE PLACE OF REGISTER		年 月 日	年 月 日	RESPONSIBLE PERSON
	現 住 所	ADDRESS		年 月 日	年 月 日	
				年 月 日	年 月 日	
				年 月 日	年 月 日	
				年 月 日	年 月 日	
GUIDANCE 保 護 者	氏名 利が名	NAME		年 月 日	年 月 日	
	新生児 との 続柄	RELATION OF CHILD WITH GUIDANCE	職 業	OCCUPATION	年 月 日	

学校へゆくまでに諸検査(ツベルクリン皮内反應、レントゲン検査、血液検査、知能検査等)をしたとき、傳染病(赤痢、腸チフス、パラチフス、ジフテリア、麻疹、百日咳、流行性感冒、肺炎、結核、トラホーム等)その他の病態にかつたとき、 予防接種

36歳 CHILD HEALTH CONDITION HIS FIRST BIRTH DAY
お誕生までの乳児の健康状態

月令	年月日	体重	身長	栄養	栄養方法	ツベルクリン皮内反
	年月日	WEIGHT GRAM.	HEIGHT CM.	NUTRITION	NURSING METHOD	BLOOD TEST

(痘毒、ジフテリア、百日咳、腸チフス、パラチフス、結核、発しんチフス等)をうけたとき、保健指導をうけたとき医師、助産婦又は保健婦はその概要をここに書いて下さい。(押印の欄に医師、助産婦、又は保健婦の別を書き押印して下さい。)

DISCUSSION		INDICATION FOR STAMP	Stamp
記	事	(予防接種法による予防接種は赤字にて記載のこと)	印
	(INJECTION BY LAW SHOULD BE PUT DOWN BY RED INK)		

学校へ行くまでの幼児の健康状態

AGE DATE

BLOOD TEST

年月令	年月日	体重 kg	身長 cm	胸圍 cm	歯 乳歯の数 (甲乙丙)	栄養	ツベルクリン 皮内反応			
年	月	年	月	日	WEIGHT gram	HEIGHT C.M.	GIRTH OF THE CHEST	TEETH DECAYED A, B, C, TOOTH	NUTRISHMENT A, B, C	
年	月	年	月	日						
年	月	年	月	日						
年	月	年	月	日						
年	月	年	月	日						
年	月	年	月	日						
年	月	年	月	日						
年	月	年	月	日						
年	月	年	月	日						
年	月	年	月	日						
年	月	年	月	日						
年	月	年	月	日						
年	月	年	月	日						
年	月	年	月	日						

DISCRIPTION (INJECTION ^{BY} LAW SHOULD BE ^{BY} PNT)
DOWN BY MED BANK

記 事 (予防接種法による予防接 種は赤字にて記載のこと)	印

SAME TO THE FORMER PAGE

年月令	年月日	体 重 斤	身 長 寸	胸 圍 寸	齒 乳齒の數	米 養 (甲乙丙)	ツベルクリン 皮内反應
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日
年 月	年 月 日

SAME TO THE FORMER PAGE

記 事	(予防接種法による予防接種は赤字にて記載のこと)	印

DISCRIPTION OF RATION

配給の記事

妊産婦、乳幼児に対して特別の配給をしたときは、配給責任者は必ず月、日、品目等を記入して押印して下さい。

年月日	記事	責任者氏名	印
DATE	DISCRIPTION	NAME OF PERSON RESPONSIBLE PERSON	
			<i>stamp</i>
	Please sign and put stamp of responsible person when you make special ration to the pregnancy or children.		

SAME to the former page.

年月日	記事	責任者氏名	印

年月日	記	事	責任者氏名	印
	<i>Same to the former page</i>			

年月日	記事	責任者氏名	印
	<i>same to the former page.</i>		

年月日	記事	責任者氏名	印
	<i>same to the former page</i>		

年月日	記 事	責任者氏名	印
	<i>Same as to the former page</i>		

